

## 令和5年度琉球大学法科大学院

### C日程 法学未修者コース法律試験 問題

令和 5 年 1 月 22 日(日曜日)

10 時 00 分～10 時 45 分(45 分)

#### 【注意事項】

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験して下さい。

- 1 試験開始後、問題文に不具合があれば直ちに申し出てください。
- 2 記述式試験用の解答用紙を用い、答案の何枚目であるかを示してください。また、答案に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号と氏名を記入してください。
- 3 黒色または青色であれば、筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 4 試験開始後は、途中退席できません。必要があるときは、監督者に申し出てください。
- 5 試験終了後、解答用紙を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。
- 6 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

【問題】

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

(省略)

オルナ・ドーナト『母親になって後悔してる』鹿田昌美訳・新潮社(2022年)より

(問1)(15点)

①筆者の考えと異なる考え、及び、②筆者への批判の部分について、問題文の中の言葉を用いながら説明しなさい。

(問2)(30点)

筆者の主張をまとめた上で、あなたの考えを述べなさい。

以 上

【出題趣旨】

女性とその人生において、「母になる」こと、「ノンマザー」であること等について社会でどうとらえられているかを論じた文章を読解させ、抽象的な表現を含む文章から、その理解を問い、両論を整理すると共に、多角的な視点をもって自身の主張を説得的に展開する能力があるかを測ろうとするものである。

【採点基準】

(問1)

下記のポイントを押えているか	10点
まとめ方(論理性・表現)	5点
裁量点	-3~+3点

(ポイント)

① 筆者と異なる考え(全てを拾う必要はない)

- ・女性の産む能力と育児の必然性を合致させるという考え方
- ・母になる義務が「女性の本質」であるという表現
- ・生まれてきた、または養子に迎えた子どもの育児と世話をする先天性な母としての本能と生物学上の能力を、男性よりも女性のほうが備えているという考え
- ・女性に母になることを強いる
- ・「学習する必要はない。子の世話をし、思いやり、親しみを寄せることは、あなたの一部として刻み込まれているのだから。今感じていなくても、妊娠や出産と共にわかることであり、責任感も愛情も自然に感じるようになり、あなたの優先順位は突然変わる。人生が様変わりしても、大したことだと思わなくなるだろう」

- ・性別による親の労働の分担
- ・「公共圏」の特徴は、合理性、進歩、有用性、競争力(通常は男性に帰する資質)だが、対照的に、家族である「私領域」は、愛、利他主義、思いやりといった感情や、世話(女性にとって「自然」と見なされる性質)と関連づけ(る)。
- ・男性には家の外の有給の仕事が割り当てられ、中流階級の女性には、愛する人のために安全な港を維持すべく献身的な妻や母として無給の家事労働を行うことが期待され(る)。
- ・ナショナリスト、資本主義、異性愛規範、家父長制
- ・この分業が「自然の摂理」であり、それゆえ永続し、そのことが世界をより良くし、女性自身にも子どもにも利益をもたらす

② 筆者への批判

- ・(筆者は)母になりたくない女性である
- ・(筆者の研究は)母になりたくない気持ちを正当化する試み
- ・(筆者は)母になることが女性にとって悪いという証拠を見つけ、後悔する母を指し示すことで、母になるのを避けるように他の女性を説得している

(問 2)

筆者の考え	15 点
自説の論理性・説得性・表現力	15 点
裁量点	-5~+5 点

(筆者の考えを表す部分の例)(そのまま抜き出す必要はない)

- ・各人のニーズ、憧れ、夢は異なるものだと思っているからだ。加えて、他の女性がどう生きるべきかを指図する権利があるとも思っていない。
- ・すべての女性の手の届くところに選択肢があり、それによって私たちが自身の体、生活、決定の所有者であることを保証されるべき
- ・今もなおこれほどまでに困難な道であり、ステレオタイプと制裁に悩まされる選択であるという事実は、選択肢が実質的に存在しないということだ。非母(ノンマザー)への道は、いまだに閉ざされたままなのだ。
- ・私たちは自分の体と生活の所有者である必要があり、自分の思考、感情、想像力の所有者であるべき

以 上